

# 臨時会

1月19日

## 新庁舎関連工事契約 変更1件新規2件

●防災広場造成工事の請負契約の変更契約の締結

施工の結果、敷地造成工の岩盤掘削の数量の減により、1132万円減額するもの。

○請負金額

変更前 4億 442万円  
変更後 3億9309万円

可決（全員）

●町道新庁舎防災広場線社会资本整備総合交付金工事の請負契約の締結

庁舎建設地の西側に町道を整備するもの。

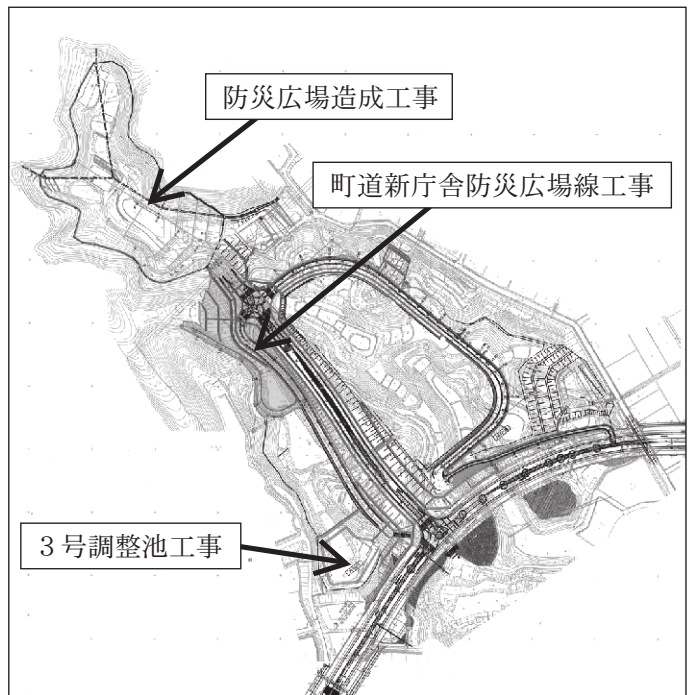
主な工種は、道路土工及び、法面工、擁壁工の施工。

○金額 1億2228万円

○契約先 株式会社建設

○工期 平成29年1月20日から平成29年8月27日

可決（全員）



新庁舎関連工事場所の概要

Q 藤本岩義議員

法面は、東南海地震などの震度7の揺れでも大丈夫か。

また、コンクリート擁壁部への網などの防護柵の設置は。

A 金子まちづくり課長

震度や土工が滑る可能性などについて事前検討した設計となっている。

また、コンクリート擁壁部は、簡易吹付法枠工とし、法枠の中は種子吹付をするため、防護柵は設置しない。

Q 森 治史議員

最低制限価格は、県の基準に基づいて予定したものか。

また、盛土部分の深さと、その工法は震度7の地震も考慮したものか。更に、途中での工法の変更はありうるのか。

A 松田副町長

最低制限価格は、県等の基準に基づき、設計金額における直接工事費の95%を、共通仮設費の90%等々、そういう率を設定している。

また、盛土部分の高さは約5mとなっている。工法は、固い土等を約30cmから50cmぐらいを敷き詰め、後、転圧をする標準的な工法を採用している。工法的な変更等は、現場の状況等によって出てくると考えるが、基本的にはこの工法でやっている。

A 金子まちづくり課長

盛土部分の高さは約5mとなっている。工法は、固い土等を約30cmから50cmぐらいを敷き詰め、後、転圧をする標準的な工法を採用している。工法的な変更等は、現場の状況等によって出てくると考えるが、基本的にはこの工法でやっている。

種子吹付は水分を地下に浸透させるので、将来、イノシシなどの被害も予想されるが、それらの考慮も必要ではないか。

A 金子まちづくり課長

現段階では、防護柵の設置等は考えていないが、現場等、再度精査して変更が必要であれば検討する。

Q 山崎正男議員

請負率が今回は88・68%で、最低制限価格と落札額が同額になっているが、これは可能かつ適切な数字か。

●防災拠点施設3号調整池整備工事の請負契約の締結

貯水池は、豪雨時等の雨水を一時的に貯留し、調整しながら既設水路に流すためのもので、新庁舎関連で3カ所の調整池を整備することとしており、今回、公営住宅建設予定地エリアを集水区域として、庁舎建設地の南西側に調整池を整備するもの。

A 松田副町長

事前に最低制限価格などをこちら側から提示をしているので、業者の見積もりの精度が高ければ最低制限価格と同額となることも有り得る。

主な工種は、掘削工及び、コンクリートブロック積工、底盤コンクリート工の施工。

○金額 5748万円

○契約先 株式会社西南総合建設

○工期 平成29年1月20日から平成29年7月13日

可決（全員）